

国語科(6年)

☆国語で学習すること

小学校の国語の学習では、日常生活に必要な話す・聞く・書く・読むなどの基礎的な内容を繰り返し学習し確実に言語能力を育成することを重視しています。

6年生の国語では、年間175時間の授業を実施することになっています。本校では、その内の30時間を書写に当てています。

高学年は、これまでの学習のまとめをし、中学校の学習へ発展させていく小学校生活の最後期です。言語活動の場や目的も日常生活から社会全般にまで多様に広がりを見せ始めます。学習も目的をもち、「話す・聞く」力、「書く」力、「言語」の力が確実に身に付くように学習を進めていきます。

☆学習の仕方について

国語で学習することは、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」、「言葉の特徴や使い方に関する事項」、「情報の扱い方に関する事項」、「我が国の言語文化に関する事項」です。

「話すこと」では、
相手を決めてスピーチをしたり、話題を選んでインタビューをしたりします。聞いている人を意識して取り組むことが大切です。

「書くこと」では、
目的をもち、誰に伝えるのかを考えて文章を書くことができるようにします。普段目にしているニュースですが、自分が発信者になって伝える学習もします。話題を見つける目をもち、日頃から題材を探せるとよいでしょう。

「読むこと」では、
教科書を繰り返し声に出して読むことと、学級文庫などを利用して、できるだけたくさんの本を毎日習慣づけて読むことがよいです。主題や要旨を考えて読むようにしましょう。

☆評価の観点について

国語科では、次の3つの観点で評価します。

- ①「主体的に学習に取り組む態度」
 - 「言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとしている。」
 - 授業への参加態度、提出物、発表、ワークシート、読書カード等
 - ②「思考・判断・表現」
 - 「筋道を立てて考える力や、豊かに感じたり想像したりする力、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができる。」
 - スピーチ、発表、聞き取りメモ等
作文、作文メモ、単元テスト(表現)等
音読テスト、ワークシート、単元テスト(理解)等
 - ③「知識・理解」
 - 「日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができる。」
 - 漢字・言葉の小テスト、単元テスト(言語)、硬筆ノート、硬筆作品
- ☆児童の学習意欲や思考力・判断力・表現力を重視し、ノート、自己評価や相互評価、毎時間の伸び、疑問、願いなどの様々な面から多面的に評価します。

学習の予定

月	学習すること
4	○つないで、つないで、一つのお話 ○春の河/小景異情 ○帰り道 ○地域の施設を活用しよう ○漢字の形と音・意味 ○春のいぶき
5	○聞いて、考えを深めよう ○漢字の広場① ○笑うから楽しい ○話し言葉と書き言葉
6	○たのしみは ○文の組み立て ○天地の文 ○情報と情報をつなげて伝えるとき ○私たちにできること
7	○夏のさかり ○わたしと本 森へ
夏休み読書チャレンジ	
9	○せんねんまんねん ○いちばん大事なものは ○利用案内を読もう ○熟語の成り立ち ○漢字の広場② ○やまなし [資料] イーハトーウの夢
10	○言葉の変化 ○秋探し ○みんなで楽しく過ごすために [コラム] 伝えにくいことを伝える
11	○漢字の広場③ ○『鳥獣戯画』を読む ○古典芸能の世界一演じて伝える ○カンジー博士漢字学習の秘伝 ○漢字の広場④
12	○狂言 柿山伏 ○大切にしたい言葉 ○漢字の広場⑤ ○冬のおとずれ
冬休み読書チャレンジ	
1	○詩を朗読してしょうかいしよう ○仮名の由来 ○メディアと人間社会 大切な人と深くつながるために ○漢字を正しく使えるように [コラム] 覚えておきたい言葉
2	○人を引きつける表現 ○思い出を言葉に ○今、私は、ぼくは
3	○漢字の広場⑥ ○海の命 ○中学校へつなげよう 生きる 今、あなたに考えてほしいこと